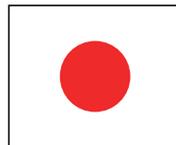


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2681年
一葉月一
8月号

発行所
生長の家両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会
員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



霊界の諸霊への供養のこと

生長の家創始者 谷口 雅春

あなたの愛する “誰か” がこの世から去って逝ったからとて神の愛を疑ってはなりません。決してあなたの「愛する人」はなくなつたわけではありません。人間の生命は“神の生命”が宿っているのですから、永遠の存在であり、久遠滅びざる存在なのです。常に永遠にその人の “霊” は生き通して、あなたが “その人” を思うときその人の “霊” はすでにあなたの側にいるのです。無論、霊界も現実界と同じく、唯心所現の世界でありますから、その人の心境に従つて霊界で、その心境相応の世界に住んでいることは現世と一向異なりません。それゆえ、霊界の祖先霊、縁者の霊などの心境の向上のために、“真理の言葉”（聖経）を讀んであげることが非情な功德があることなのであります。だから常に、仏壇または祖霊祭祀の宝壇の前で聖経『甘露の法雨』を讀んであげることが、霊界の諸霊を救済するところの非情な功德ある法施（真理の供養）となるのであります。

（『如意自在の生活365章』一七四頁）

“縦のつながり”を意識する

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

お盆を迎える頃となりました。以前にも紹介しましたが、生長の家総裁・谷口雅宣先生は、この時期を “縦のつながり” を意識し、その大切さを確認するときとして、次のようにお説きくださっています。

このお盆の時期は、私たちが親や先祖とのつながりを心に深く感じるときであります。また、先に霊界に旅立たれた魂の先輩の業績を偲び、将来に向けて決意を固めるときでもあります。つまり、現世の人間社会の中の “横のつながり” ではなく、霊界との “縦のつながり” を意識し、その大切さを確認するときであります。

（『小感雑感 Part1』一七三頁）

また、白鳩会総裁・谷口純子先生は新刊書『森の日ぐらし』の中で、このつながりを意識することについて、次のようにご指導くださっています。

先祖とのつながりを意識することによって私たちは、一人で生きているのではなく、目に

は見えない多くの人の思いを受けて生きてきたことを思い出す。また自分だけの力で生きているのではなく、様々な恩恵によって生かされてきたことにも思いが及ぶ。その温かな懐かしさの中で、人は心の安定が得られ、それは社会の健全な発展へとつながるだろう。（同書五十九頁）

親や先祖との “縦のつながり” を意識することは、個人の幸福のためだけでなく、社会のためにも、たいへん重要な意義あることなのです。お盆の時期は、なお心を込めて先祖からの恩恵に感謝し供養したいものです。例えば霊牌供養。残念ながら、本年度の宝蔵神社盂蘭盆供養大祭は中止となりましたが、宇治に送られた霊牌はこれまでと変わりなく、すべて宝蔵神社の霊殿に丁重に祭祀されます。どうぞ安心して本年も、霊牌供養をお申し込みください。

さて “縦のつながり” の話の続き。総裁先生は先のご指導のなかで命の流れを「川」に喩えられて、先祖とのつながりを意識することは、川上方向へ我々のルーツを「遡る」働きとされ、また、子孫を思うことは、川下方向にある彼らのことを考えることとされて、

その重要性についてもお説きくださっています。私たちはこの命の川の上流方向だけでなく、下流に向けても意識をひろげ、次世代の平和や幸せを願い、その命のために考え、協力することを忘れてはならないということです。

話は変わりますが、六月二〇日、

これまで一年以上開催することができなかつた両丹生命学園に代えて、ネットフォーラムに園児を集めて楽しく真理を学ぶ行事が開催されました。はじめての試みでしたが、自宅からスマホなどを使って十二名もの神の子が参加、うち六名はなんと初参加者でした。約一時間のプログラムには「私たちには無限の可能性がある」「神と自然と人間は本来一体」を教える講話や、各自が身の回りの感謝すべきことをみつけて発表する「宝物さがし」の企画などもあり、充実した行事となりました。「みんな最初は少し緊張していましたが、次第にうち解けて楽しく時間を過ごすことができました。今回の経験を生かし、秋にまた開催できるよう準備します」(渡部悦子園長)。



このようにして私たちの世代が、子供たちの素晴らしい未来を願って努力すること——次世代に向けて一体感の意識をひろげること、先祖を供養することと同時に大切だということですね。どうぞこの八月は「縦のつながり」を強く意識して、生命学園や青少年育成にも皆様の一層のご協力をよろしくお願ひ致します。

子供のための新しい祈りの本！
谷口雅宣先生著 へ生長の家総裁

神さまと自然と ともにある祈り

本書の祈りを子供たちが、またお父さん・お母さんも一緒に読むことで、神の命の現れである自然との一体感や、すべての生き物への愛が育まれます。

- ▼A6判・56頁
- ▼509円
- ▼日本教文社刊



相愛会便り

近頃、マスクを着けての外出に違和感がなくなってきました。「非日常生活も慣れてしまえば日常生活」というのをどこかで聞いたことがあります。ネットフォーラムといった形での行事参加にも少しずつ慣れてきたように思います。コロナウイルス感染症の対策に迫られるまでは両丹短期練成会で催していた、先祖供養祭、祈り合いの神想観、浄心行もネットフォーラムで実施していますので、霊牌や祈り合いの神想観申込用紙や浄心文をお寄せください。毎月初旬に、近藤保男連合会長が白鳩会とともに白鳩会の会員さん宅を訪問しますのでお預けください。次回の訪問は次のとおりです。

九月六日：(福知山・綾部地区)

佐藤たまき様宅、佐々木寿美様宅

九月八日：(京丹後・与謝・西舞鶴地区)

小国雅子様宅、由利洋子様宅、市田寛子様宅、若井康江様宅

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、国際平和信仰運動に、また「自然と共に伸びる運動」に邁進して頂いてますことを心より感謝申し上げます。去る六月二十七日(日) 十時～十時五十分、地方講師・光明実践委員研修会ネットフォーラムを開催致しました。参加者は三十八名でした。その中で西村千都子講師が普及誌の読みどころを紹介くださいました。素晴らしい発表ありがとうございました。また同研修の中で伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、「生長の家」機関誌六月号一頁、谷口雅春先生の法語「勇敢に困難と取り組め」、同じく機関誌谷口雅宣先生の「観音棒」は何を表わす？四頁～九頁、普及誌六月号二十四頁～二十五頁(先祖供養の仕方)等勉強させて頂きました。

行事のご案内

令和三年八月度地方講師・光明実践委員研修会ネットフォーラム

日 時：令和三年八月二十九日(日) 十時～十時五十分

テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻(基礎編) 中巻(実践編)、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』『生長の家』機関誌

当月号、普及誌二誌No.138(九月号)

※活動報告書は新形式

の用紙で毎月十日ま

でに提出してください

ますようお願い申し

上げます。

谷口純子先生著
『森の日ぐらし』





コロナ感染拡大防止対策に協力するため、本部の方針に歩調を合わせ、現在、両丹道場での行事開催は中止となり、道場で皆様とお会いすることは難しい状況となっております。

そこで令和2年5月より各総連へ訪問させて頂いております。行く先々で誌友の皆様が提出物をきちんと用意してくださり、又、それを取りまとめ、拠点の訪問先でお世話をさせて頂きまして、ありがとうございます。皆様に感謝致します。



8 月度の対策部だより



普及誌購読者拡大

いつも普及誌をご愛読頂いてありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大のため外出が制限され、誌友会・学習会など色々な行事が中止となり、ネットを利用した行事が行われるようになりました。スマホやパソコンを持っておられる方は、LINE や Facebook など色々な繋がりが持てますが、スマホを持っておられない方にとっては、毎月届く普及誌『白鳩』、『いのちの環』、『日時計 24』のみが、生長の家との繋がりの唯一の手段となっています。毎月電話で、「普及誌の何処に感動されましたか?」、「何処が良かったですか?」と、尋ねて誌友さんとの繋がりを持っています。

購読者を増やすにはどうすれば良いのか。それにはやはり、普及誌の愛行しかないと思います。この素晴らしい生長の家の教えを多くの人に知ってもらうため、コロナ禍ではありますが少しずつでも頑張ってください。

No136『いのちの環』「俳壇」 綾部総連：大槻紀子様のご投稿が掲載されています。

聖使命会員拡大

合掌、ありがとうございます。

現在、生長の家の運動は、生長の家総裁谷口雅宣先生のご指導のもと、世界 29 の国と地域で活発に展開され、教えによって「人間神の子」の真理の目覚めた人々が逐次聖使命会に入会しており、世界で約 212 万人の人々がこの運動に参画しています。皆様からの尊い浄財は、世界各地の教えと活動や布教施設の設置のために役立てられています。世界に“真の平和”をもたらすために、皆様の真心溢れるご支援をお待ちしております。さあ!! 勇気を出して喜びをもってお勧めしましょう!!

支部・誌友会・会員

暑いですねえ。コロナ対策・熱中症対策、習慣づいてきましたね。かわいい神の子さんも玄関を開けると洗面所へ一目散!!!

〈うちんとこの誌友会〉

合掌、ありがとうございます。

なかなか終息の兆しの見えないコロナ禍で、各支部での誌友会が開催出来ない状態ですが、今、橋立総連では、ラインで繋がっている会員さん同士で投稿式の誌友会をしています。決められた期限内に普及誌を読んで、それぞれが感想を投稿されています。

新しいことへの挑戦に少しずつ慣れてきて、皆さんの感想を楽しみながら読ませて頂き、私も何とか投稿させて頂いていますが、いつも楽しみにして下さるラインをされない熟年さんは、「何時になったらお話が聞きに行けるようになるかな。」と、待っていてくださいます。時々家庭訪問をさせて頂きお声掛けさせて頂いていますが、一日も早くコロナが収束し皆さんの笑顔を見ながら対面での誌友会が出来ます事を願っています。

練成会対策部

合掌、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、京都第二教区においても昨年より練成会の開催が見送られております。大変残念なことではありますが、そうした状況の中で教化部長伊藤夏樹先生により、(道場のみなさま役員の皆さまのご協力を頂き) 先祖供養祭、浄心行等が執り行われ、その様子がライブ配信されるという画期的で素晴らしい行事を開催して頂きました。離れていても神聖な雰囲気そのまま感じる事が出来ました。また時間がずれても拝聴させて頂けるありがたさも有りました。部長先生の私たち信徒に対する深い深いご愛念を感じて感謝でいっぱいです。ありがとうございます。

練成会は開催出来ませんが、8月4日水曜日、教区夏の大掃除の日に布団干しをしたいと思います。練成対策部の方、又は、有志の方は、マスク着用、マイボトル持参で参加をよろしくお願い致します。

令和3年8月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	曜
	(道場休館日)	(道場休館日)	(道場休館日)	(道場休館日)			(道場休館日) 山の日振替	☉ (道場休館日) 山の日			(道場休館日)	(教区) 夏の清掃 (10時)	霊牌奉送祭 (10時)		聖使命感謝奉納祭 夏季青少年ネットフォーラム (10時)	本部・教化部行事
																教化部長
西村・藤原美	休み	休み	休み	休み	河合・船木	大西・河田	休み	休み	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	早期行事担当

☆五者会議、各組織会議、青年会行事はネットフォーラムを予定しております。また、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火
		(講) 地方講師・光栄一日研修会 (10時) 及び同役員会 (10時50分) 【ネットフォーラム】		(白) 総連会長・対策部長担当会議 (10時30分) 【ネットフォーラム】	(道場休館日)	(白) 正副会長会議 (10時) 【ネットフォーラム】		普及誌仕分け	(教区) 京都第一教区よるこびのネットフォーラム (10時) (相) 正副・地区連会長会議 (13時) 【ネットフォーラム】		五者会議 (10時) 【ネットフォーラム】	(道場休館日)	住吉神社月次祭 (10時) 【ライブ配信】	
大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田

☆献納ありがとうございます。
 ・片山 明子 10,000 円
 ☆自然エネルギー拡大募金ありがとうございます。
 ・堺 うめ乃 10,000 円
 ☆祈い合い神想観・浄心行献納ありがとうございます。
 12,100 円
 ☆お賽銭ありがとうございます
 21,257 円
 敬称略

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
 京都府では6月18日にまん延防止等重点措置等が出されるなど日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況です。道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。